

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊丹市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種の職員が揃っているので保護者の課題やニーズに合わせた職員の配置をし、訪問することができる。	訪問する前に、職員間の情報共有を行っている。	事業に対しての意識の共有を図るために、研修を実施する。アンケート結果から保育所等訪問を受け入れしてくれる施設への説明が足りないことがあり、アンケートへの回答ができていないことがあったので新しく訪問する施設はもちろん今まで依頼を受けた施設も周知していくことが必要である。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の小学校や就学前施設へ訪問や、事業内容の説明を行っているが、周知できていないと感じることがある。	保護者の要望で実施する事業の為、訪問したことのない施設もあり浸透しにくい。	保育所等訪問支援事業についての研修会を地域の事業所や就学前施設、小学校等に案内する等事業内容について広く周知を図ることに努める。アンケート結果から保育所等訪問を受け入れしてくれる施設への説明が足りないこともあるので周知をしっかりと必要がある。
2			
3			